**2008 年 02 月 20 日（第 4 版）
* 2007 年 12 月 13 日（第 3 版）

＊製品届出番号 27B3X00069000028

器具器械９　汎用Ｘ線診断装置用電動式患者台（40655000）
*一般医療機器（特定保守管理医療機器・設置管理医療機器）

立位撮影台ＳＡ－６３Ｄ

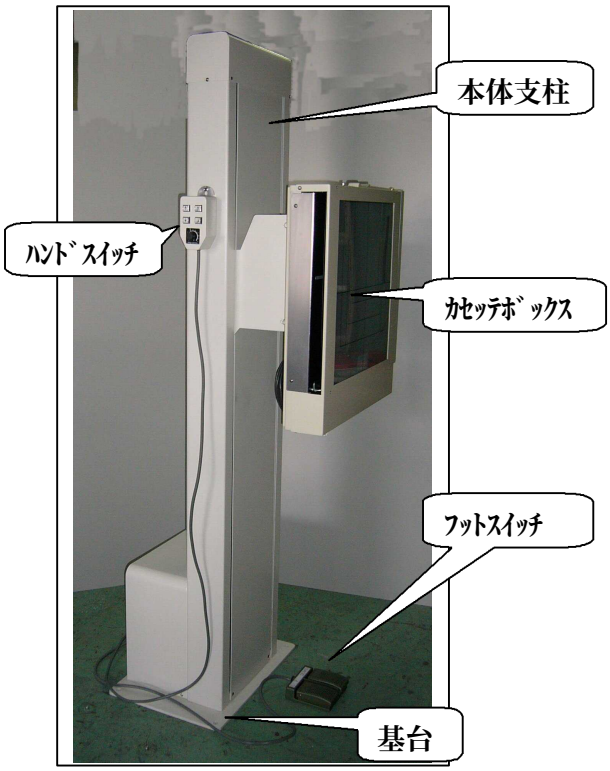
【警告】
１．Ｘ線防護について
Ｘ線装置を誤って使用すると、身体に危害を及ぼす場合があります。
２．被検者に関する警告
・被検者が支柱部のレール、ワイヤーロープに触れない様ご指導願います。ケガや、衣服を汚す恐れがあります。
・被検者が撮影位置に立つ時基台につまずかない様ご指導願います。
・被検者が受像部の稼動部分に触れない様ご指導願います。受像部を上下移動させた場合、身体の一部が挟まりケガをする恐れがあります。
３．使用上の警告
・操作者は常に被ばくを防ぐ様に注意して下さい。
特に撮影中に撮影室に入室する必要のある時は、防護衣、防護装置等を使用し不必要な被ばくのない様に充分注意して下さい。
・受像部の保持部には指定以外の物を装着しないで下さい。
・カセッテの着脱は、必ず両手で持ち行ってください。片手操作で着脱すると、カセッテの落下でケガをする恐れがあります。
・カセッテボックスやデジタルカメラ保持部に２５０Ｎ以上の荷重をかけて使用しない事。

【禁忌・禁止】
・妊婦・産婦へのＸ線照射は避けて下さい。
・小児への過剰なＸ線照射は避けて下さい。

【形状・構造等】
１）構成
本装置は以下のユニットにより構成される。
（１）本体支柱
（２）基台
（３）カセッテボックス（受像部）
（４）フットスイッチ
（５）ハンドスイッチ

詳細は装置付属の取扱説明書「第４章」を参照してください。

２）各部の名称



３）電気定格
定格電圧　　単相　１００Ｖ
周波数　　５０/６０Ｈｚ
電源入力　　１．０KVA
保護の形式　クラスⅠ
保護の程度　Ｂ形
電気安全規格：JIS Ｔ　0601-1:2002 に適合している。
４）本体寸法及び質量
寸法（㎜）　　幅 550　　高 1900　　奥行 390
質量　　約 190Kg

【性能、使用目的、効果・効能】
１）仕様
支柱部
受像部上下移動　　床上６９０～１９００（受像部上面）
電動速度可変式
受像部
Ｂタイプ：ブッキー装置（上センターリング機構付）
Ｍタイプ：静止グリッド受像部（上センターリング機構付）
撮影サイズ　６切から半切縦横
Ｃタイプ：ＦＰＤ
２）使用目的
この装置はＸ線管球と組合せてグリッド内蔵の受像部にカセッテをセットして又はＦＰＤにて立位撮影に用いる立位撮影台です。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

３）効能又は効果
Ｘ線装置と組合せて人体から発生する散乱線を除去して鮮明なＸ線写真撮影ができる。

【操作方法又は使用方法等（用法・用量含む）】
使用環境条件
温度　　１０～４０℃
湿度　　３０～８５％
設置上の注意
装置の設置は傾きの無い様に設置してください。
装置はアンカーボルト等で床、又は壁に固定して使用して下さい。
操作方法
カセッテボックスにカセッテをセットして又はＦＰＤのサイズ選択を行い、被験者の位置決めを行って撮影を行う。

【使用上の注意】
禁忌・禁止
①この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
②カセッテボックス部に２５０N 以上の荷重をかけて使用しないこと。
③患者自身の状態によって、患者本人を危険な状態にすると判断される場合は使用しないこと。
重要な基本的注意
①検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること。（ハンドグリップ、患者固定バンド他）
②スライダー部やカセッテボックスのトレイを移動させるときは、患者の手足指等が挟まれないよう注意すること。
③Ｘ線可動絞りは必要最小の照射野で使用すること。
④検査中は、患者の様子や動作を常に注意すること。特に意識のない患者、身体に障害のある患者、精神に問題のある患者の検査中の状態については細心の注意を払うこと。

相互作用
①本装置の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は､装置に障害を及ぼす恐れがあるので使用しないこと。
②指定された機器以外の装置を接続した場合、所定のＥＭＣ性能を発揮できない恐れがあるので指定機器以外は接続しないこと。

高齢者適応
高齢者は握力など体力に問題がある場合は介助者を付けるなどして検査に臨むこと。
妊婦・産婦、授乳婦及び小児への適用
①本装置を妊婦及び妊娠の疑いのある者及び授乳中の者へ使用する場合は、医師の指示のもとで慎重に行うこと。
②小児の検査の場合は介助者を付けること。
その他の注意事項
この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となり、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

詳細は装置付属の取扱説明書を参照してください。

【作動・動作原理】
スライダー部の上下懸垂方式は電動チェーン懸垂方式
受像部は静止グリッド受像装置、ブッキー装置又はＦＰＤを内蔵しています。

【貯蔵方法及び使用期間等】
１）使用耐用年数（自己認証）
指定された保守点検を実施した場合に 10 年
２）定期交換部品
受像部カセッテホルダートレイ
アクリル天板

詳細及び保守部品の保有年数については取扱説明書を参照してください。

【保守・点検に係る事項】

１）使用者による保守点検事項

項目	点検頻度	点検内容（概要）
他の機器との干渉	日常	目視にて確認
ｶｾｯﾃﾄﾚｲﾌ部の動作	日常	ｶｾｯﾃの保持確認
上下動の動作	日常	動作の確認

２）業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
懸垂ﾁｪｰﾝの点検	１年	傷及ぶ伸びの確認
ヒューズの交換	１年	同一規格のヒューズに交換
各部重要固定部	１年	固定ねじの増し締め

＊＊【製造販売業者及び製造業の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２
TEL：（０６）６７９４－１６００
FAX：（０６）６７９４－１６０６
製造業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２